

# 第三期中期運営計画

概要版

～四半世紀の歴史を越えて！わくわく村は再び躍動します。～

今春 25 周年の佳節を迎えるわくわく村は、第三期中期運営計画の実現に向けてスタートします。計画に掲載されている主な概要を報告します。（詳細はホームページに掲載）

## Q 中期運営計画とはどのようなものですか？

国や三田市の計画と整合を図りながら、法人の理念「誰もが地域社会の中で輝き、自立した生活ができるように支援する。」実現に向けて活動の継続性や安定性を確保する中期的な計画です。

### ■今までの中期運営計画期間

- ・第1期 平成 23 年度～平成 27 年度（5年間）  
利用者増等に対応して、本町事業所を平成 24 年に開設
- ・第2期 平成 28 年度～令和 3 年度（6年間）  
利用者増等に対応して、すずかけ台事業所を平成 29 年に開設

### ■第3期中期運営計画の期間等

- ・計画期間 令和 4 年度～令和 8 年度（5カ年）
- ・基本目標 “夢実現をめざして”  
ひとり一人が安心して暮らせる温もりのある社会を！！

## Q 大きく変化する社会環境や法人運営の課題は？

### ■新しい潮流への対応

- ・高齢化、人口減少の進展（対象者・児の減少）とウイズコロナ時代（新生活時代）を見据えた取組み
- ・災害や感染等のリスク管理・地域との共生、交流の促進・SDGs の推進

### ■法人運営の課題への対応

- ・事業継続に必要な用地確保（志手原事業所、大原事業所）
- ・障害者児サービスの継続、発展戦略の構築
- ・健全経営の維持（安定した財政の維持等）
- ・推進体制の充実（運営体制の充実、人材の育成等）

三田市知的障害者数の推移

(人数/%)

年度	人口(人)	障害者数/%	重度/%	中度/%	軽度/%
H24	114,117	745/0.65	310/41.6	189/25.4	246/33.0
H27	113,541	745/0.66	314/41.4	175/23.1	268/35.4
H28	113,309	796/0.70	325/40.8	183/23.0	288/36.2
H29	113,038	867/0.76	340/39.2	195/22.5	332/38.3
R2	110,397	967/0.87	349/36.0	204/21.1	414/42.8

## Q 計画期間中のサービスはどのようになりますか？

### ① 多機能型サービスの継続・充実

現在 4 事業所で取り組んでいる 7 つの障害者サービス、1 つの障害児サービス、計画相談事業を継続し、更に魅力ある事業に発展させます。

定員は生活介護のみ 1 名増、利用率は 93.5% (R3 年 86%) を目指します。

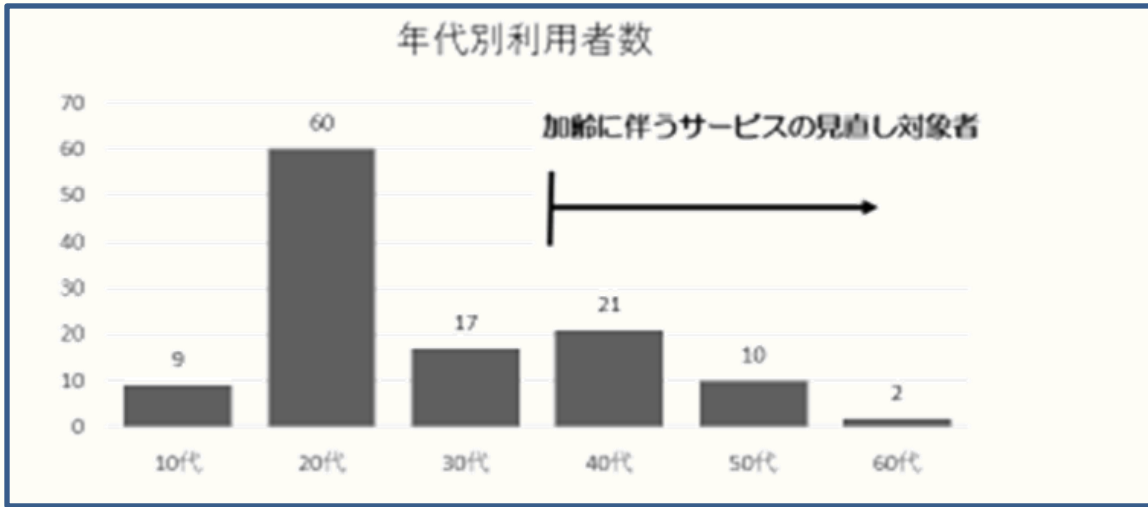
### ■契約者数の予測

(人口減少やサービス対象者数の減少により、概ね現状を推移)

事業所	事業名	令和 3 年	令和 8 年	増減	定員の増減
大原事業所	生活介護	51	55	4	40：変更なし
	放課後等デイサービス	36	30	▲6	10：変更なし
志手原	就労継続支援 B 型	13	14	1	14：変更なし
	就労移行	3	6	3	6：変更なし
本町	就労継続支援 B 型	17	19	2	20：変更なし
すずかけ台	就労継続支援 B 型	20	19	▲1	18：変更なし
	自立訓練	4	5	1	6：変更なし
	生活介護	7	9	2	6→7：1 増
合計		151	157	6	120→121

■各サービスの主な取組み

- 生活介護事業  
 現行の2事業所で安全確保を優先し差別化したサービスを推進します。  
 特に、すずかけ台事業所では高齢化の受け皿となる「共生型生活介護」を、令和5年開設を目指します。
- 就労継続支援B型事業  
 現行の3事業所の魅力と特色を生かして、利用者の能力向上と工賃アップに努めます。



工賃の目標

事業所	令和3年度見込み	令和8年度	増減	備考
志手原	7,500円	8,000円	500円	製菓の販路開拓 新規開発等
本町	9,300円	10,000円	700円	施設外受託事業の拡大等
すずかけ台	5,200円	6,000円	800円	農福連携事業の拡大等

- 自立訓練（生活訓練）事業  
 定員割れが続いているが、当面定員6名を維持し、社会資源の活用とともに、自閉症及び強度行動障害等を伴う利用者への、専門的な支援を充実します。
- 就労移行事業  
 定員維持が厳しい状況が続いているが、学校や企業との連携強化を図り、新規契約者の確保と毎年2名の新規就労を目指します。
- 放課後等デイサービス事業  
 対象者は減少するが、支援学校等と連携強化し、現在のサービス、定員及び利用率（平均88%）を維持します。

② 相談支援事業の推進

障害者・児の相談、サービス調整（計画相談）を継続、充実します。

（単位：人）

年度	令和3年	令和8年	増減
計画策定数	600	640	40

③ その他事業

- ショートステイ、グループホームの整備  
 ショートステイは、法人の健全経営と社会情勢の変化等を勘案して、計画期間の後半に整備を目指します。グループホームは、他団体等との連携も含め、次期中期運営計画に取組み方針を掲載します。
- 共生型サービス（介護保険+障害福祉）  
 利用者の高齢化等に対応して、「すずかけ台事業所生活介護」に1～2名程度の介護保険適用を付加した「共生型生活介護」をR5年度開設に取り組む。  
 計画後半には、周辺地域の介護需要、地域共生等に応えるため、新たな共生型サービス施設を検討します。

## 利用者の所在地

年度	三田市	神戸市	西宮市	宝塚市	三木市	加東市	丹波篠山市
H27	81人	17人	1人	1人	1人	—	—
占有率	81%	17%	1%	1%	1%	—	—
R2	85人	23人	8人	1人	1人	1人	1人
占有率	70%	19%	7%	1%	1%	1%	1%
施設入所者	4人	1人	—	—	—	—	—

## Q健全経営の維持が心配ですが？

社会環境の先行きが不透明など厳しい経営が想定されますが、収益では新規利用者の確保と利用率の向上、費用では適正かつ効率的な事業運営（業務改善等）に努め、各年度 20,000 千円程度の活動増減差額（収益）を目指します。

（単位：円）

年 度	活動収益	活動費用	増減差額
R4	291,455	271,734	19,721
R8	313,517	294,174	19,343

## Q事業活動に必要な資産（土地や施設等）の確保や修繕等の計画は？

- 本年、契約更新の「志手原事業所用地」は、当面 10 年間の有償賃貸借契約を締結する。R8 年更新の「大原事業所」は、当面購入を前提に毎年 10,000 千円を積み立てる。但し財政事情等を踏まえて、有償賃貸借契約も視野に検討します。
- 車両更新  
送迎バスを含めて、現有 22 台の送迎用等の経年車両を更新します。
- 設備更新  
大原事業所の厨房冷蔵庫、キュービクル、志手原事業所のエアコン、キュービクルを更新します。
- 外壁補修、内装改修  
志手原事業所の外壁等、すずかけ台事業所の内装を改修します。
- 投資計画（5 年間投資総額は 110,700 千円）

年度	土地購入	車両購入	設備更新	外壁塗装 屋根防水	内装改修	備考
R4		2,500	2,500			大原：冷蔵庫・キュービクル
R5		2,500	1,000			志手原：キュービクル
R6		2,500	1,500			志手原：エアコン
R7		2,500		5,000	2,500	志手原：外壁 すずかけ台：内装
R8	85,700	2,500				大原：土地
計	85,700	12,500	5,000	5,000	2,500	

## Q 計画を実現するための運営体制は？

- 組織ガバナンスの強化  
理事の増員を図るとともに、評議員会や監事監査の牽制機能を強化します。
- 事業運営の透明性の向上  
法人情報の迅速性、透明性を確保するため、現在の広報媒体（紙面やホームページ）による情報公開を促進するとともに、様々な SNS 情報（インスタグラム、Twitter 等）の活用を検討します。なお、個人情報の保護などセキュリティの向上に努めます。  
また、昨年実施した第三者評価を概ね 3 年ごとに実施し、評価結果と目標達成計画を公開します。
- 人材の確保、研修の充実  
職場環境や福利厚生改善、手当等キャリアパスの適正な見直しを図り、職員の確保・定着を図るとともに、限りある人材を各事業所の実情等に応じて適材適所に配置します。また、各種キャリアアップ研修のほか、利用者の安全と人権擁護の観点から、支援関係の改善とともに、人権研修や交通安全研修等、虐待や事故防止を図ります。

## Q 大きく変化する社会環境への対応は？

### ・災害や感染等への対応とリスク管理

急増する自然災害に対しては、平素から伝達・避難訓練をするとともに、関係機関等と連携を図って、災害時の相互応援・支援を促進します。

また、新型コロナウイルス等の感染防止対策を充実・徹底し、業務を中断させないようにするとともに、中断した場合に早期に業務を継続出来るBCP計画（業務継続計画）を令和6年度までに策定します。

### ・地域との共生、交流の促進

各事業所所在の地域組織（自治会等）との協働・連携を推進するとともに、地域の介護需要等に応えるため、すずかけ台事業所生活介護を一部共生型に転換するとともに、新たな共生型障害者サービスを検討します。

### ・SDGs の推進

市の基本計画と整合を図って、SDGs の理念を様々な支援活動に取り入れていきます。

活動目標	主な取り組み	主な SDGs の目標
一般就労を促進する	就労に必要なスキルアップや企業実習等を実施し、就労の場を確保する。また、就労定着を図る	8 働きがいも経済成長も 10 人や国の不平等をなくそう 16 平和と公正をすべての人に
自立生活を支援する	地域社会の中で自立出来るように支援する。障害特性に応じて、身辺自立や機能保持、働く喜びの提供と経済的スキルアップを図る。 ●障害者：生活介護、就労移行、就労継続支援B型、自立訓練（生活訓練） ●障害児：放課後等デイサービス ●相談支援：計画相談支援等	3 すべての人に健康と福祉を 8 働きがいも経済成長も 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナーシップで目標を達成しよう
働き方改革を推進する	安定的な職員確保とキャリア形成を推進する。（キャリアパス充実） ●高齢者の雇用確保（雇用延長等） ●雇用形態に関わらない公正な待遇の確保 ●ワーク・ライフ・バランスの推進（時間外勤務制限、年休取得奨励等）	5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も 16 平和と公正をすべての人に
地域貢献	公益的な責務、障害福祉のセーフティネットとして、障害者への理解を促進するため地域交流や繋がりを強化する。 ●障害者理解啓発や地域交流イベント等の開催、参加 ●地元のまちづくりや自治区・自治会等の地縁団体、非営利団体等との活動連携強化	3 すべての人に健康と福祉を 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナーシップで目標を達成しよう



大原事業所



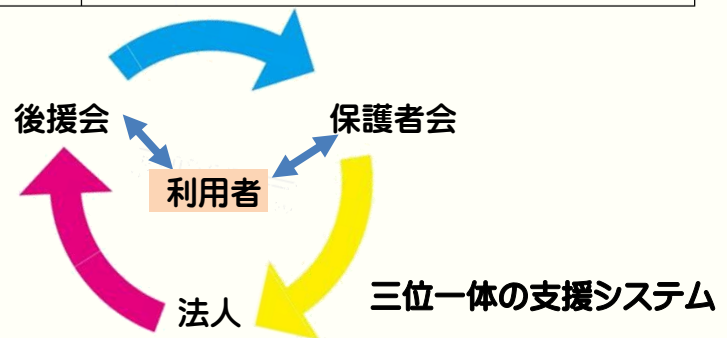
志手原事業所



本町事業所



すずかけ台事業所



## 社会福祉法人 風 基本理念

誰もが地域社会の中で輝き、自立した生活ができるように、次の3つの姿をめざします。

- ・障害のあるなしに関わらず、等しく地域生活ができています。
- ・利用者の皆さんの個性を重んじ、利用者の自己実現ができています。
- ・質の高い福祉サービスが提供され、利用者の皆さんの自立生活の向上が図られています。